

# 令和 6 年度事業計画

## 1 基本方針

当協会は平成 5 年 7 月に設立、平成 6 年から順次施設整備に努め、現在、名古屋市内に「なごやかハウス」を 12 ヶ所「単独デイサービスセンター」を 11 ヶ所開設、運営している。また、平成 21 年 4 月から軽費老人ホーム名古屋市清風荘の指定管理者として管理運営をしている。その後、平成 22 年度に名古屋市の外郭団体改革により自主・自立の社会福祉法人としての再スタートを行った。

この間、度重なる介護報酬の改定や人件費等の増大により法人経営の厳しさが増す一方で、提供するサービスが個別ケア・自立支援介護という方向へ質的転換が図られる中、当協会では、これら喫緊の課題に的確に対応していくために、平成 30 年 3 月に『中長期経営計画』を策定し、また平成 30 年 7 月には新たな『経営理念』を策定し、全職員が目指すべき方向性を明確にした。

中長期経営計画については、計画期間が 10 年と長期に及ぶため、3 年を 1 期とする実施計画を定めて進捗管理を行っており、現在は、その第 2 期目の計画として策定した『第 7 次経営計画』に基づいて、中長期経営計画の達成を目指している。

当協会が今後ますます発展していくためにも、これまで以上にご利用者にご満足いただけるよう、介護サービスの質のさらなる向上を目指し、取り組んでいくことが不可欠である。

新型コロナウイルス等の感染症対策にも配慮しつつ、ご利用者に安心・信頼いただける施設、職員が働きがいを感じられる施設運営を第一として、下記の点を重点事項として取り組みを進める。

## 2 重点事項

### (1) ご利用者の人格の尊重と自立支援に向けた介護

ご利用者一人ひとりが最期まで自分らしく、意思を尊重され、ご本人の希望に沿った生活を送ることができるよう、「優れた専門性に基づく高品質な介護」の確立を推進していく。そのため『第 7 次経営計画』に沿って、個別ケアの推進、根拠に基づく自立支援介護の推進を図る。個別ケアの推進においては、令和 6 年度から施設介護支援専門員の専任を本格化していくことで、個別ニーズに即した計画書の作成を行い、満足感を持って日々張り合いのある生活を送っていただける状態の実現を目指していく。自立支援介護では、排泄ケア、口腔ケアのさらなる推進を図り、機能訓練指導員による機能訓練の充実、認知症介護実践者研修修了者の割合の増加、介護事故発生件数の削減（2019、2020 年度平均から 25%の削減）に取り組む。

さらに、ノーリフティングケアの推進、ICT・介護ロボット等の導入・検討を継続する。

## **(2) 中長期的な視点に立った経営基盤の確立**

当協会が各種サービスを安定的・持続的に提供していくためには、中長期的な視点での経営基盤の確立に努める必要がある。

しかしながら、各種感染症による施設でのクラスターの発生や利用率低下、光熱水費等の物価高騰により、直近3年度の経営実績は非常に厳しく、施設経営の立て直しは喫緊の課題であり、短期的な取り組みが急務となっている。

法人全体として収益の確保を図るため、「施設ごと」の目標利用率を本部主導で設定し、その進捗を厳格に管理しつつ、サポートチームからの必要な指導・助言を行うことで、各施設における「目標利用率」の達成を目指す。

また、安定的・持続的な収入の確保、効果的かつ適正な経費執行のための支出の削減を目指し、各職種会議で好事例等について定期的に情報共有を図り、全体に波及できるように取り組む。

さらに、持続的な事業運営のため大規模修繕計画に基づき、空調・換気設備の更新、屋上防水等の建物改修を行う。

## **(3) 人材の確保・育成及び定着**

就労人口が減少し、人材不足が深刻化すると共に、アフターコロナにおける経済活動の正常化により大手企業の賃上げが進む中、優秀な人材の確保が困難となりつつある。そのため、各種就職フェアへの参加や学校訪問等、様々なリクルート活動などに積極的に取り組むとともに、介護現場のイメージ向上や当協会働く魅力をアピールするため、広報活動の強化を行い、協会の「見える化」を進め、ブランド力を高めることで安定した人材の確保に繋げる。

また、令和5年度の外国人技能実習生第1期生受け入れに引き続き、第2期生、第3期生、更には第4期生の受け入れに伴う準備等を進め、育成就労による介護人材の安定的な確保と国際貢献に努める。

平成31年3月策定の『なごや福祉施設協会人材育成ビジョン』において、職員が目指すべき職員像を明らかにすることで、目的意識を持った自己の能力開発や自己研鑽に励み、もって『経営理念』の達成に向けて主体的に取り組むことのできる職員の育成を図る。

また、施設内研修のツールとしてeラーニングシステムを全施設で導入し、効果的・効率的な研修の受講により職員のスキルアップを図る。

さらに、職員のモチベーションの維持向上及び業務改善事例の水平展開に資する「介護オリンピック」の開催や「採用2年目及び3年目職員交流会」を実施することで職員の定着化を図るとともに、個人の成長を促す。

#### **(4) 地域住民、地域社会への貢献事業の推進及び地域との連携促進**

アフターコロナにおける地域貢献活動については、状況を注視しながら、地域に根ざした施設・法人となるよう地域に向けた講座や、施設見学会、介護者教室の実施を通じて、より積極的に地域住民、ボランティアの方々との交流を図る。

また、名古屋市社会福祉協議会との連携による「なごや・よりどころサポート事業」へ引き続き参画し、若者への就労支援や施設の機能や特色を活かした地域住民の居場所づくり、サロンの提供等を継続、推進していく。

#### **(5) 透明性の高い事業運営及び積極的な情報の発信**

すべての職員に『コンプライアンス・ガイドライン』の遵守を徹底するため研修を継続すること等により、透明性の高い事業運営を担保する。

また、平成 29 年度に導入した会計監査人による財務会計監査を引き続き実施し、財務会計に係るチェック体制の格段の強化を図ることで、会計基準に基づいた適正な支出管理を担保し、さらなる財務会計の透明性の徹底を図る。

さらに、ホームページやインスタグラム等ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を活用することで情報の質的・量的拡大を図り、協会のさらなる「見える化」を図る。

#### **(6) 業務継続計画の深化**

新興感染症等の発生を想定した業務継続計画（BCP）、南海トラフを震源域とする大規模震災を想定した業務継続計画（BCP）それぞれに定めた事項を確実に実施できるよう、職員研修を実施するとともに、訓練によるシミュレーションの反復など、様々な角度から計画を検証し、適宜必要な見直しを行うことで実効性の深化に努める。

また、大規模震災など災害への対応においては、地域との連携・協力が不可欠であることから、訓練の実施にあたっては、地域住民の参加が得られるように努める。

### 3 実施する事業

#### (1) 介護保険事業

第一種社会福祉事業である特別養護老人ホーム、第二種社会福祉事業である短期入所事業、通所介護事業及び公益事業である居宅介護支援事業の4事業を実施している。令和6年度事業量については、法人全体として収益の確保を図るため、本部主導で利用率を設定した。

各事業の施設別・事業所別の事業量は以下のとおりである。

##### ① 特別養護老人ホーム 12 施設

令和6年度は全体で、利用率 96.00%、317,866 人を見込む。

(参考：令和5年度事業計画 利用率 96.08%)

区 分	定員(人)	利用率(%)	延べ利用者数見込み(人)
なごやかハウス横田	85	96.00	29,784
なごやかハウス滝ノ水	90	96.00	31,359
なごやかハウス出来町	68	96.00	23,827
なごやかハウス福原	70	96.00	24,528
なごやかハウス希望ヶ丘	87	96.00	29,664
なごやかハウス名西	90	96.00	31,536
なごやかハウス三条	80	96.00	28,032
なごやかハウス岳見	50	96.00	17,520
なごやかハウス野跡	80	96.00	28,032
なごやかハウス名楽	80	96.00	28,032
なごやかハウス丸池	80	96.00	28,032
なごやかハウス神宮寺	50	96.00	17,520
合 計	910	96.00	317,866

##### ② 短期入所事業 12 事業所

令和6年度は全体で、利用率 91.16%、51,572 人を見込む。

(参考：令和5年度事業計画 利用率 91.00%)

区 分	定員(人)	利用率(%)	延べ利用者数見込み(人)
なごやかハウス横田	10	91.00	3,321
なごやかハウス滝ノ水	9	91.00	3,155
なごやかハウス出来町	7	91.00	2,325
なごやかハウス福原	10	91.00	3,321
なごやかハウス希望ヶ丘	13	91.00	5,094
なごやかハウス名西	9	91.00	2,989
なごやかハウス三条	20	91.00	6,643
なごやかハウス岳見	10	91.00	3,321

なごやかハウス野跡	20	91.00	6,643
なごやかハウス名楽	10	91.00	3,321
なごやかハウス丸池	20	93.00	6,789
なごやかハウス神宮寺	14	91.00	4,650
合 計	152	91.16	51,572

### ③ 通所介護事業 21 事業所

令和 6 年度は全体で、利用率 83.61%、187,070 人を見込む。

(参考：令和 5 年度事業計画 利用率 83.28%【定員 719】)

区 分	定員(人)	利用率(%)	延べ利用者数見込み(人)
なごやかハウス横田	37	83.00	9,489
なごやかハウス滝ノ水	38	83.00	9,745
なごやかハウス出来町	37	83.00	9,489
なごやかハウス福原	38	83.00	9,745
なごやかハウス希望ヶ丘	40	83.00	10,258
なごやかハウス名西	32	83.00	8,207
なごやかハウス三条	42	86.25	11,193
なごやかハウス岳見	38	83.00	9,745
なごやかハウス野跡	38	83.00	9,714
なごやかハウス丸池	32	83.00	8,180
デイサービスセンター大金	34	88.00	9,245
デイサービスセンター星ヶ丘	30	83.00	7,669
デイサービスセンター春田	45	83.00	11,503
デイサービスセンター橋本	18	83.00	4,601
デイサービスセンター浦里	28	83.00	7,181
デイサービスセンター鶴舞	32	87.75	8,648
デイサービスセンター松軒	28	83.00	7,181
デイサービスセンター向島	38	83.00	9,714
デイサービスセンター平和が丘	30	83.00	7,669
デイサービスセンター猪高台	35	83.00	8,947
デイサービスセンター香流橋	35	83.00	8,947
合 計	725	83.61	187,070

#### ④ 居宅介護支援事業 7 事業所

令和 6 年度は全体で、8,724 件を見込む。

(参考：令和 5 年度事業計画 8,124 件)

事業所名	介護支援専門員数(人)	延べ取扱い件数(件)
なごやかハウス滝ノ水	3	1,332
なごやかハウス出来町	3	1,260
なごやかハウス希望ヶ丘	5	2,148
なごやかハウス名西	2	852
なごやかハウス三条	2	576
なごやかハウス岳見	3	1,488
なごやかハウス野跡	3	1,068
合計	21	8,724

#### (2) その他事業

第一種社会福祉事業である軽費老人ホーム（ケアハウス）の設置経営及び名古屋市からの委託事業である高齢者世話付き住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業を実施している。

また、平成 21 年 4 月から指定管理者として軽費老人ホーム名古屋市清風荘を運営しており、平成 31 年 4 月からさらに 10 年間、指定管理者として運営する。

平成 26 年 4 月から、喀痰吸引等研修事業を実施し、適切にたんの吸引等を行うことができる介護職員の養成を図っている。

#### ①軽費老人ホーム（ケアハウス） 5 施設

身体機能の低下が認められる方や高齢のため独立して生活するには不安のある方に入所していただき食事を始め日常生活の便宜を提供する施設であり、入所者からの利用料と名古屋市からの補助金で運営している。

令和 6 年度は全体で、利用率 98.33%、39,419 人を見込む。

(参考：令和 5 年度事業計画 利用率 96.36%)

施設名	単身用(室)	二人用(室)	入所定員計(人)	利用率(%)	延べ利用者数 見込み(人)
ケアハウス福原	11	2	15	100	5,475
ケアハウス名西	26	2	30	100	10,950
ケアハウス三条	16	2	20	95.00	6,935
ケアハウス野跡	24	3	30	96.66	10,584
ケアハウス名楽	13	1	15	100	5,475
合計	90	10	110	98.33	39,419

## ②高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業

単身あるいは2人家族の高齢者向けの配慮をした名古屋市営シルバー住宅に、生活援助員を派遣して入居者の安否確認や生活相談に応じる、住宅行政と福祉行政の連携による事業である。

施設名	所在区	派遣対象市営住宅	入居定員(戸数)
なごやかハウス希望ヶ丘	千種区	希望ヶ丘シルバー住宅	27人 (21戸)
		霞ヶ丘シルバー住宅	30人 (23戸)
		はざまシルバー住宅	28人 (23戸)
なごやかハウス野跡	港区	東稲永シルバー住宅	30人 (23戸)
		みなと東シルバー住宅	22人 (19戸)
		みなと西シルバー住宅	33人 (24戸)
		みなと南シルバー住宅	50人 (42戸)
なごやかハウス神宮寺	港区	神宮寺シルバー住宅	19人 (14戸)
合計		8住宅	239人 (189戸)

## ③軽費老人ホーム 名古屋市清風荘（指定管理）

自炊ができない程度の身体機能の低下がある方又は高齢などのため独立して生活するには不安のある方で、家族による援助を受けることが困難な方を対象とする施設であり、名古屋市からの指定管理料で運営するものである。

指定期間は、平成31年4月から令和11年3月までの10年である。

施設名	単身用(室)	二人用(室)	入所定員計(人)	利用率(%)	延べ利用者数 見込み(人)
名古屋市清風荘	136	12	160	92.50%	54,020

## ④喀痰吸引等研修事業

愛知県知事から登録研修機関としての登録を受け、喀痰吸引等研修事業を実施し、適切にたんの吸引等を行うことができる介護職員の養成を図る。

実施場所 基本研修(講義50時間と演習) 本部事務局研修室

実地研修 なごやかハウス12施設および他法人4施設

定員 1クールあたり16名(年間2クール実施)

受講資格 介護業務に従事している職員

研修講師 愛知県たんの吸引等にかかる指導者養成伝達講習を修了した看護師